

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 santec
 コード番号 6777 URL <http://www.santec-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 IRグループ長 (氏名) 今城 星秀
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 0568-79-3535

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,097	—	227	—	88	—	△68	—
20年3月期第3四半期	2,591	23.4	161	—	107	—	71	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	△5.74		—	
20年3月期第3四半期	6.00		5.99	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	7,803		6,777		86.8	566.60		
20年3月期	7,951		7,036		88.5	589.32		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,777百万円 20年3月期 7,036百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,878	1.2	87	△80.7	△84	—	△242	—	△20.29	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 11,961,100株 20年3月期 11,939,700株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 150株 20年3月期 98株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 11,957,901株 20年3月期第3四半期 11,939,633株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年5月9日に公表いたしました連結業績予想のうち通期について本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想の利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正の内容は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、いわゆるサブプライムローン問題に端を発して、金融市場の混乱と景気減退が全世界規模で急速に進行いたしました。わが国経済においても、急速な景気減退が鮮明となっております。

通信市場においては、高速大容量通信への要求が依然として継続し、NGN（Next Generation Network。高速でありながら高度に安定で、かつ安全なネットワークを提供する次世代技術。）への意気込みも見られるなど、市場の需要については依然として堅調であると考えられます。しかしながら、世界規模の景気減退を背景に、主として平成20年10月以降、通信市場全体で急速な需給調整が進みました。加えて、将来に渡る計画についても、通信事業者や通信機器ベンダーの慎重姿勢が目立つようになり、市場環境にはわかeni厳しさを増しております。

当社グループにおいては、平成21年3月期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の基本方針として、「生産性向上と原価低減加速による利益改善」を掲げ、事業活動を展開してまいりました。前述のような厳しい市場環境の影響が生じたものの、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は3,097百万円と、前第3四半期連結累計期間と比較して506百万円の増加となりました。

売上高の増加と原価低減による効果で当第3四半期連結累計期間の営業利益は227百万円（前第3四半期連結累計期間161百万円）となりましたが、急激な為替変動に起因する為替差損147百万円の発生により、当第3四半期連結累計期間の経常利益は88百万円（同107百万円）となりました。平成20年9月から同年12月にかけての株式相場変動による62百万円の投資有価証券評価損を計上したほか、連結子会社であるSANTEC U.S.A.の繰延税金資産取崩し91百万円の発生等により、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は68百万円（前第3四半期連結累計期間の四半期純利益は71百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

当第3四半期連結累計期間における世界的景気減退の急速な進行に伴い、光通信市場においても将来への警戒感から、発注見送りや、在庫リスクの軽減への動きが急進化しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,245百万円と、前第3四半期連結累計期間（2,006百万円）と比較して11.9%の増加にとどまりました。

② 光測定器関連事業

前連結会計年度に投入した波長可変光フィルタの新製品が売上を伸ばしたことに加え、OCT光源装置について、医療機器メーカーへの出荷が始まったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は前第3四半期連結累計期間（419百万円）より59.8%増加して、670百万円となりました。

③ その他の事業

システム・ソリューション事業のソフトウェア販売における新規受注分の増加により、当第3四半期連結累計期間の売上高は180百万円と、前第3四半期連結累計期間（164百万円）より9.7%の増加となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

平成20年10月以降においては日本国内向け、北米向け及び海底ケーブル通信向け光部品製品の需要が減速したものの、それまでの受注が好調であったことと、OCT光源装置の販売が本格的に開始されたことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,100百万円と、前第3四半期連結累計期間（1,510百万円）より39.0%の増加となりました。

② 北米

北米においては景気先行きに対する警戒感から、在庫調整や計画の見合わせなどが発生し、その結果、当社の中長距離向け光部品製品の成長にかげりが生じました。当第3四半期連結累計期間の売上高は643百万円と、前第3四半期連結累計期間（648百万円）と比してほぼ横ばいとなっております。

③ ヨーロッパ

当社グループにおきましては主要顧客の再編への対策のため、平成20年10月にイタリア駐在員事務所を設立するなど営業体制確立につとめました。当第3四半期連結累計期間の売上高は290百万円と、前第3四半期連結累計期間（384百万円）より24.6%の減少となりましたが、一部は為替の影響によるものであり、現地通貨（ポンド）ベースでは実質3.6%の減少でありました。

④ その他の地域

主に中国市場において、光測定器の販売に注力し、当第3四半期連結累計期間の売上高は63百万円と、前第3四半期連結累計期間（47百万円）に比して34.0%の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は前連結会計年度末と比較して147百万円減少いたしました。主として、売掛金及び受取手形の減少や繰延税金資産の取崩しによるものです。

負債総額は前連結会計年度末より111百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金や役員退職慰労引当金の増加が主な要因です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界規模の急速な景気減退と先行き不透明感の中で、当社グループが属する光通信市場においても、将来の見通しを予測することが困難となっております。中長期的には光通信市場の成長は継続していくことは確かであると考えておりますが、短期的には、このような経済環境が当社グループにおける業績に一定の影響を与えることは避けられないと考えられます。このような事情に鑑み、平成20年5月9日付で発表いたしました、平成21年3月期の連結業績予想につきまして、以下の通りに修正いたします。

平成21年3月期の連結業績予想に関連し、景気先行きに対する通信事業者や通信機器ベンダーの警戒姿勢を背景として、当社グループの受注にも影響が生じております。当第3四半期連結累計期間において、為替差損及び投資有価証券評価損を計上しておりますが、今後の相場を見通すことが困難であるため、当期末も平成20年12月末の相場水準と想定して算定いたします。また、連結子会社であるSANTEC U. S. A. の繰延税金資産取崩し91百万円の発生により、当期純利益が押し下げられることとなりました。

以上のような事情から、売上高3,878百万円（前回予想4,750百万円）、営業利益87百万円（前回予想590百万円）、経常損失84百万円（前回予想は経常利益565百万円）、当期純損失242百万円（前回予想は当期純利益550百万円）にそれぞれ修正いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却可能価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっており、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産であって、前連結会計年度末において帳簿価額を処分可能価額まで切り下げている棚卸資産については、前連結会計年度末から著しい状況の変化がないと認められるため、前連結会計年度末における貸借対照表価額で計上しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判定に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用しております。なお、当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,230,135	1,200,310
受取手形及び売掛金	1,020,306	1,219,672
有価証券	28,970	28,985
商品	30,492	30,360
製品	226,467	92,595
半製品	96,087	73,231
原材料	312,690	276,190
仕掛品	109,020	112,141
その他	37,993	28,423
貸倒引当金	△593	△652
流動資産合計	3,091,571	3,061,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,227,104	2,319,706
機械装置及び運搬具(純額)	32,626	38,318
土地	1,631,344	1,618,952
その他(純額)	154,611	135,906
有形固定資産合計	4,045,687	4,112,884
無形固定資産	92,565	66,591
投資その他の資産		
投資有価証券	563,998	615,787
その他	10,282	95,088
貸倒引当金	△228	—
投資その他の資産合計	574,051	710,875
固定資産合計	4,712,304	4,890,351
資産合計	7,803,876	7,951,609

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	438,302	387,786
未払法人税等	5,100	23,152
賞与引当金	60,406	21,537
その他	140,704	149,297
流動負債合計	644,514	581,773
固定負債		
退職給付引当金	176,820	173,058
役員退職慰労引当金	182,179	135,200
その他	23,256	25,373
固定負債合計	382,256	333,632
負債合計	1,026,770	915,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,975,141
資本剰余金	1,209,465	1,206,059
利益剰余金	745,222	909,430
自己株式	△65	△35
株主資本合計	6,933,188	7,090,596
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△60,836	△41,883
為替換算調整勘定	△95,246	△12,508
評価・換算差額等合計	△156,083	△54,392
純資産合計	6,777,105	7,036,204
負債純資産合計	7,803,876	7,951,609

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,097,789
売上原価	1,845,858
売上総利益	1,251,931
販売費及び一般管理費	1,024,427
営業利益	227,503
営業外収益	
受取利息	25,429
受取配当金	821
不動産賃貸料	22,500
その他	648
営業外収益合計	49,399
営業外費用	
支払利息	519
為替差損	147,485
不動産賃貸費用	40,352
その他	10
営業外費用合計	188,368
経常利益	88,534
特別損失	
投資有価証券評価損	62,460
その他	47
特別損失合計	62,507
税金等調整前四半期純利益	26,027
法人税等	94,719
四半期純損失(△)	△68,691

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	26,027
減価償却費	149,743
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,761
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	48,789
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,989
貸倒引当金の増減額(△は減少)	228
受取利息及び受取配当金	△26,249
支払利息	519
為替差損益(△は益)	158,307
投資有価証券評価損益(△は益)	62,460
固定資産除却損	46
売上債権の増減額(△は増加)	155,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	△191,301
仕入債務の増減額(△は減少)	87,305
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,429
その他	△49,453
小計	455,120
利息及び配当金の受取額	28,275
利息の支払額	△519
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,762
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△57,110
無形固定資産の取得による支出	△26,581
投資有価証券の取得による支出	△30,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	6,831
配当金の支払額	△94,515
自己株式の取得による支出	△29
リース債務の返済による支出	△2,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	△234,685
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,810
現金及び現金同等物の期首残高	1,129,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,259,106

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	光部品 関連事業 (千円)	光測定器 関連事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,245,923	670,939	180,927	3,097,789	—	3,097,789
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	29,078	38,407	—	67,485	△67,485	—
計	2,275,001	709,346	180,927	3,165,275	△67,485	3,097,789
営業利益	83,742	129,752	14,008	227,503	—	227,503

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,100,271	643,671	290,001	63,845	3,097,789	—	3,097,789
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	882,263	65,188	—	2,296	949,749	△949,749	—
計	2,982,535	708,860	290,001	66,142	4,047,539	△949,749	3,097,789
営業利益（又は営業損失）	252,187	△20,685	△7,287	3,288	227,503	—	227,503

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高（千円）	282,901	291,881	442,412	1,017,195
II 連結売上高（千円）				3,097,789
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.1	9.4	14.3	32.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,591,504
II 売上原価	1,528,188
売上総利益	1,063,316
III 販売費及び一般管理費	901,852
営業利益	161,463
IV 営業外収益	18,812
V 営業外費用	72,992
経常利益	107,283
VI 特別利益	1,518
VII 特別損失	21,646
税金等調整前四半期純利益	87,154
法人税等	15,567
四半期純利益	71,586

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	87,154
減価償却費	148,172
退職給付引当金の増減額	17,163
役員退職慰労引当金の増減額	35,016
賞与引当金の増減額	48,934
受取利息及び受取配当金	△17,858
支払利息	348
為替差損益	4,325
投資有価証券売却益	△1,249
固定資産売却益	△268
固定資産除却損	4,439
たな卸資産評価損	17,074
売上債権の増減額	△255,650
たな卸資産の増減額	△118,006
仕入債権の増減額	49,151
未払消費税等の増減額	380
その他	△14,259
小計	4,868
利息及び配当金の受取額	17,379
利息の支払額	△348
法人税等の支払額	△20,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,276
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△20,560
有形固定資産の売却による収入	1,436
投資有価証券の取得による支出	△300,000
投資有価証券の売却による収入	724,908
投資活動によるキャッシュ・フロー	305,783
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△1,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,790
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,618
V 現金及び現金同等物の増減額	292,651
VI 現金及び現金同等物の期首残高	913,291
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,205,942

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	光部品 関連事業 (千円)	光測定器 関連事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消 去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,006,671	419,961	164,871	2,591,504	—	2,591,504
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	55,387	55,387	△55,387	—
計	2,006,671	419,961	220,258	2,646,891	△55,387	2,591,504
営業利益(又は営業損失)	122,167	△7,852	47,148	161,463	—	161,463

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	ヨーロッパ (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消 去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,510,737	648,423	384,710	47,632	2,591,504	—	2,591,504
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	897,942	52,743	—	2,644	953,330	△953,330	—
計	2,408,679	701,167	384,710	50,276	3,544,834	△953,330	2,591,504
営業利益(又は営業損失)	169,381	△34,522	29,280	△2,677	161,463	—	161,463

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	376,284	376,344	338,489	1,091,118
II 連結売上高(千円)				2,591,504
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.5	14.5	13.1	42.1